

2008年5月19日

カンボジア 2008 年人口センサス集計の進行状況（メモ）

1．調査票の提出

人口センサスの実査が本年3月13日に無事終了した後、調査票（Form A 及び Form B）等は、予定どおり同月20日までに、州計画局経由でカンボジア計画省統計局（NIS）に全て提出された。

2．調査票の受付

提出された調査票は、調査区ごとに、透明のビニール・バッグ（Plastic Bag）に入れて提出された。受付時に、このビニール・バッグに、バー・コード入りのステッカーを貼り、スキャナーで読み取る。読み取られたデータは、直接サーバーに送信される。これで受付完了である。この受付作業は、NIS新館（我が国の援助により本年1月14日竣工）の3階と4階で行われた。

3．調査票の保管

受付が済んだ（Registered）調査票は、NIS旧館の調査票保管庫（旧図書館1F）に保管されている。ここには、棚が10台ほど整列設置されており、1つの棚は5段ほどに分かれている。雨季には浸水の恐れもあることから、最下段には調査票を置かないように指導したところ。

調査票保管のための要員は7人が配置されている。

4．速報集計

速報集計の作業は、調査票提出直後から本年9月に予定されている結果公表に向けて、NIS新館の2階と5階で作業が行われている。主な作業内容は、調査区要計表（Form 2）の内容を、調査票（Form B）と照合審査することである。審査が終了した調査区要計表から順にデータ入力される。作業開始当時は、梱包材等が床に散乱しており、ゴミ箱の設置と毎日の清掃を指導したところ。

速報集計のための要員は、1組10人の単位となっており（指導員1人を含む）、照合審査に6組、符号付けに2組、事後調査に2組、データ入力に10組と、約200人が配置されている。

5．品質管理

本プロジェクトの大きな目標の1つが、カンボジアの統計の精度向上であるため、本プロジェクトの提案により、速報集計の作業から品質管理が導入され、同時に、NIS内に人口センサス課長以下4名からなるQAチームが設置された。